

「高松市観光振興計画（２０１３～２０１５）」（案）についてのパブリック
コメント実施結果

1 案件名

「高松市観光振興計画（２０１３～２０１５）」（案）

2 意見募集期間

平成２５年９月２７日（金）から平成２５年１０月１７日（木）まで

3 意見募集結果

６件（３人）

4 寄せられた御意見の要旨とそれに対する市の考え方

※ 提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化または文言等の調整をしています。

No.	御意見（要旨）	市の考え方
1	競争や争い、営利至上の言葉・用語が散見されることに違和感を覚える。創造都市推進ビジョンの基本的な考え方を踏まえると、本計画は、来訪者に穏やかに、心豊かに過ごしていただくことや関係者が連携・協力し合うことを基調にした表現、用語の選択が望まれるのではないか。	少子高齢化の進行、景気の低迷や余暇活動の多様化により国内観光需要の減少が懸念される中、我が国では、「観光立国」の実現が国家的な政策課題として位置付けられ、国内の各地域において、交流人口の増大に向けた取組が進展しています。 こうした中、本市が観光旅行の目的地として、国内外の多くの人から選ばれるためには、本市の観光の競争力を戦略的な視点で高めていく必要がございます。 本計画の目指すところは、「創造都市」の実現により、本市が多くの人にとって「訪れたい、訪れてよかったまち」となることであり、そのためには、ご意見にありますとおり、来訪者に穏やかに、心豊かに過ごしていただくことや関係者が連携・協力し合うことが重要であると考えております。 したがって、今後は、関係する皆様の連携・協力による高松ならではの魅力・交流・感動の創造が推進されるよう、行政・民間・市民が一体となったネットワーク体制の構築を進めてまいります。

2	<p>穏やかな海と豊かな山を活かし、富裕層高齢者の引退後の移住先や長期休養先となりうる集落的な都市設計を行うてはどうか。できれば、全国からの集客や合宿等の受入れが見込める大型スポーツ施設を併設することで、世代を越えた交流が生み出せれば望ましい。</p>	<p>アクティブシニアは、今後の消費をリードしていく存在と捉えており、本計画におきましても、そういった層をターゲットに誘客の推進を図っていきたいと考えております。本市の風光明媚な自然に恵まれた環境や歴史ある観光資源は大きな魅力であることから、今後は、これに磨きをかけ、誘客や交流につながる取組を進めてまいります。</p> <p>また、ご意見にございましたニューツーリズム（スポーツツーリズム・ヘルスツーリズム・グリーンツーリズムなど）の振興についても推進してまいります。短期的には、地域密着型プロスポーツチームとの連携や自然豊かな塩江温泉郷の活用など、地域にもともと備わっている日常の環境や資源を利用した取組を中心に進めてまいります。</p>
3	<p>四国霊場八十八箇所になんだマラソン大会やウォークラリーなど、高松市の特色を活かしたスポーツイベントを開催するなど「スポーツツーリズム」による集客の試みをしてはどうか。さらに、イベントの起源は高松市であっても、最終的には四国を一つの観光地として捉えるビジョンに繋げるべき。</p>	<p>さらに、平成26年には瀬戸内海国立公園が指定80周年を、四国八十八ヶ所霊場が開創1200年を迎えることから、記念事業の開催など、県や近隣自治体はもとより、瀬戸内沿岸地域や四国全体での協力・連携による広域周遊観光の開発にも取り組んでまいります。</p>
4	<p>観劇等、夜も楽しめる場所があればよい。</p>	<p>屋島山上から望む夕夜景やサンセットクルーズなどの夜景観光についても充実を図るほか、「むれ源平石あかりロード」や「高松あじのみ物語」など歴史、文化、産業を活用したナイト観光の取組を進め、滞在時間の延長を図ってまいります。</p>
5	<p>交通の便を良くしてほしい。</p>	<p>JR高松駅およびサンポート高松周辺の交通結節機能の強化充実を図るほか、二次交通や観光地の周遊利便性を高める取組を進めてまいります。</p>
6	<p>観光案内所は、案内のしやすい場所に設け、「国内向け」、「国外向け」と分けないほうが良い。</p>	<p>また、観光案内機能につきましても、インフォメーションプラザ利用者数の増加に取り組むことを指標に入れておりますように、案内所への誘導表示をよりわかりやすくするなどの検討を進めるほか、標識等の多言語化などの充実を図り、国内外の観光客にとって歩きやすいまちづくりを進めてまいります。</p>